

菜流寺

平成 30 年 1 月 3 日 発行

正月だより



住職手作りの門松です。永代供養墓横の紅梅が年末にはちらほら咲くので使います。

昔、街道筋に一里（四皿）ごとに盛り土をし、旅人の目印としました。傍らに植えた榎（えのき）が夏には多くの葉を繁らせ、旅人の疲れを癒したことでしよう。
この「秘在寺だより」をお読みいただいている檀信徒の皆さん、それぞれどのようなお正月を迎えられましたか。何はともあれ、お陰さまで今年も正月を迎える事が出来ました。お互い今日この今、生かされていくことに感謝し、日々を大事に大切に過ごすことをこの新年に誓いましょう

東澤山 菜流寺
住職 武山清堂

〒 421-2102 静岡市葵区油島 122

電話 054-294-0542 (秘在寺)

Fax 054-294-0709

seido@hizaiji.net

<http://hizaiji.net/>

<http://ashita-an.hizaiji.net/>

(秘在寺)

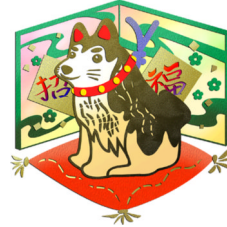
(あした庵)

謹賀新年

新春を迎え

檀信徒の皆様のご多幸を

お祈り申し上げます



旧年中は大変お世話になりました。
今年もどうぞよろしく
お願い致します。

『正月や冥土の旅の一里塚
めでたくも有り めでたくも無し』
一休宗純



◆そらの道まつり
直前の天気予報では前後はよくて三日のみ雨でした。それでもさすが晴れの特異日、昨年と同じように抜けるような青空となりました。十月には台風が二つも来るし、来る日も来る日も雨ばかり、そんなグズグズを吹き飛ばすような豪快な青空、法要の時にはじりじりと照りつける太陽に首筋が痛くなるほどでした。
十一月三日



↑
住職と副住職が健康祈願をしたミサンガを結んで差上げます。

←お焚きあげ



29.9.15

安倍奥恒例の村祭り楽しみ

静岡市葵区・島津 勝 (自営業 77歳)

安倍街道を行くと季節の
変化をいち早く知る。暑い夏に涼しさを提供してくれた木々が早くも紅葉の準備にかかっているからだ。例年1カ月以上も早く紅葉する一本のイチヨウの葉が早くも散り始めた。紅葉が気の境内、眼下に安倍川の

静岡市葵区・島津 勝
になるところだ。自然を相手に人間はなすすべもない。
しかし祭りはやってくる。「その道まつり」というユニークな祭りがある。私はもう何年も参加して楽しみにしている祭りでもある。山の中腹にあるお寺の境内、眼下に安倍川の

流れを一望できる景色のいいところで開かれる。寺だけにご詠歌、般若心経の体験もできる。伝統の紙すきの体験、お茶会、俳句大会、地元農産物の販売、そして舞台ではさまざまな演芸が催される。

村人総出の演出に違いはない。赤トンボが舞う下、景色を見ながら仲間と食べる弁当のうまさもまた格別である。

まつりの少し前、静岡新聞に写真のよう
な投稿が載りました。毎年ステージで草
笛を披露して下さる島津さんの投稿です。
何人もの方から「見たよ」と連絡をいた
だきました。

◆茶席の亭主のつぶやき 武山博子

私は法要のあとは茶席に籠もりきりで、
ステージも売店も見たことがありません。
反省会での皆様の発言や写真で推し量る
のみです。それでも茶席にいらした方と
の会話からいろいろなことがわかります。
今回は全体的に参加者が少なかつたよう
で、お茶券の数も例年より少なかつたで
す。それでもうかがってみると「初めて
です」という方がけっこういらっしゃい
ましたから、それはそれで嬉しいことだ
す。「この村に私たちの知り合いがいて、
誘われました」「今朝、どこかへ行こうと
思い立ち、探したらこのまつりがありま
した」など、いろいろです。地元の皆様、
どうぞお友だちにこのまつりをご紹介下



さい。
思わぬ出会いなのか「あらう
くお久しぶり!!」というよ
うな声が聞かれたりして楽し
いです。

今年の茶席のお菓子は蒸しようかんで
したが、小豆がうまく煮えず、私は弁解
ばかり。「このつぶつぶは何ですか?」「小
豆の硬い部分です(苦笑)」「蒸しようかん
は(できあいの餡を使うのではなく)小
豆を煮て作ります。もう長いこと作って
いますが、なぜか今年是小豆がやわらか
くならず、普段ならマツシヤーでつぶす
程度でいいのに、とうとうフードプロセ
ッサーを持ち出してつぶす羽目になりま
した。小豆六キロを煮たので、かなりの
量です。昨年はちよっとゆるめだったの
で、今年はそのう事のないようにと気
をつけました。それで余計に固かったか
な?なかなか難しいものです。

今年竹の皮をたくさんいただいたの
で、すべて竹の皮に包むことができ、追
分け羊羹のような見た目になりました。

毎年九十本ほど作るのですが、茶席で使
ったので、販売用が少なくなりました。
一昨年から国際ことば学院に案内を差
し上げていますが、今回は台湾とスリラ
ンカの学生さんが来てくれました。どち
からも仏教国の方なので、法要に興味を引
かれたようです。



本堂前にはたくさんのお店が



◆その道のまつり打ち上げ

十一月二十五日

例年のように秘在寺本堂で楽しいひと
ときを過ごしました。参加者は三十三名
と秘在寺寺族一同で、最後には恒例のゲ
ームなどあり、笑い声の響いた一夜でし
た。



大道芸の杉山さん
今回初めて「紙切
り」を披露

◆ご報告

○秋季特別布教

九月二十六日
臨濟寺

菜流寺二名 秘在寺六名が参加しました。法話のあと拝観できてとてもよかったです。今回の役員さん以外に写経などの参加者にお声かけしてお誘いしました。役員以外の方でも参加はできますので今後このような機会（法話・研修などで会場は市中寺院）に参加希望の方はお申し出下さい。お声をかけます。



本堂



臨濟寺
山門

右 今川氏輝公
左 今川義元公

今川氏が見直されていますね。臨濟寺内に今川霊廟が再建されました。



○庫裡二階建物アンケート結果

アンケート結果

1、回収数	総檀家数	93 軒	
	町内檀家	63/68	
	町外檀家	13/25	
	合計	76/93	81.7 %
2、結果	①壊しても良い	38	
	②そのまま置く	1	
	③評議委員会に一任	37	
	評議委員総数	8人	
	①6人	②0	③2人

評議委員会で協議の結果、解体することに決定しました。現在、大工さんと解体業者に相談中で、できれば年度内に工事を完了する予定です。

アンケートにご協力いただきありがとうございます。

◆お参りの旅ご案内

○天橋立と西国札所参拝

案内を同封しました。今回は少し遠いので、宿泊が宿坊ではなくホテルなので、今までよりも参加費が高くなりました。定員は二十七名です。お申し込みをお待ちしています。



○駿河一國参り

秘在寺のお参りの旅は平成十七年、駿河一國参りから始まりました。あれからもう十三年経とうとし、当時の参加者の中で鬼籍に入られた方もいらっしゃると思います。写真を見ては懐かしく思い出します。前回の一國参りはお勤めの方も参加できるように、日曜日、日帰りで実施しました。そろそろもう一回企画しようかと考えております。皆様、どうでしょうか？気軽な日帰りのお参りをしてみませんか？



平成 18 年 4 月 三十二番札所 沼津 蓮光寺

○四国八十八箇所お参り

前回お知らせをしたところ、早速お申し込みがありました。三十一年度のこのように思います。時期その他ご希望がありましたらご連絡下さい。

◆シフクノトキ

2月25日(日) 12:30 開場 13:30開演

音楽イベント「シフクノトキ」の第6回が秘在寺にて開催されます。今回は寒い時期なので「本堂内」での演奏となります。出演アーティストは前回に引き続き「Caravan」です。また5年ぶりの全国ツアーの一環としてこの秘在寺を選んでいただきました。本当に嬉しく思います。

このイベントは私(副住職)の賤機中学校時代の同級生とその友人達が「この賤機地区を盛り上げたい」、そして「来てくれる人達に喜んでもらいたい」そんな気持ちで主催・運営をしてくれています。

臨時駐車場として郷島グラウンドの使用、イベント中は騒音や車の往来等ご迷惑をおかけしますがご協力をお願い致します。

◆写経



「般若心経」の本を買っていただき、写経をしてみました。ほとんどの方が書き終わり、住職の解説も終わりました。写経の集いはそのまま続けて欲しいとの意見なので、引き続き実施しますが、住職の解説は「宗門安心章(しゅうもんあんじんしょう)」に進みます。写すお経は「般若心経」を続けてもいいですし「延命十句観音経」など短めのものも順々に選んでいこうと思つていきます。短いお経なら覚えやすいですし、写経や読経する間はそれに集中できるので心がクリアになります。各自のペースで写経するので、いつからでも参加できます。仲間がお待ちしていますよ。

なお「宗門安心章」は法事の時にいつも読んでいるお経で、和文なのでわかりやすいです。

写経に通つて

田邊京子

写経をするためにお寺に通い始めて、まもなく四年になります。始めた動機は、亡き人への供養になるかもしれないと思つたからでした。

最初の頃は、知らない人ばかりで馴染めるかなあと心配でした。でも、いつしか皆さんとすっかり仲良くなつていまして。和尚さんが、いつも丁寧な般若心経です。和音が、いつも丁寧に般若心経です。時間集めて、写経に取り組みたい。お茶菓子をいいただきながらのお喋り。和やかなひとときです。そんなわけで、月一回の写経の日、今では私にとつて楽しみ。一つになつていけるのです。

そして、近ごろ思うこと。写経は決して亡き人のためだけではなく、生きていく私のためだけだということ、そのことをしみじみ噛みしめています。

写経は

第二水曜日 午後一時半
第二木曜日 午後七時半

◆教区・支所

現在、住職が静岡東教区第一支所長、寺庭の博子が静岡東教区寺庭婦人会会長をして、関係から、秘在寺で支所や教区への催し物をする機会があります。皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご了承願います。

※寺庭(じてい)は寺の奥さんのことです。

○静岡東教区寺庭婦人会秋季研修会

十一月十五日

藤枝から熱海まで七十名の寺庭が秘在寺で研修を行いました。



午前中は「料理僧」としてEテレの「お寺ごはん」の講師を務めたこともある和尚様の講義を聞いた後、目隠しをして食べる「暗闇ご飯」の体験をしました。何も見えない中で恐る恐る口に入れた汁、これはいつたいた何なのか？また同じような茄子の揚げたし三種の微妙な味の違いは何によるのか？講師からの問いかけに頭をひねる面々、「いかに先入観にとらわれた見方をしているか」を体感しました。

午後は「僧堂用語」を学びました。和尚さんたちが使う言葉は、私たちが日常使う言葉と同じ漢字であっても読み方が違ったり意味合いが異なったりします。臨濟寺の老師様、雲水さんに説明していただきましたが臨場感があふれていて好評でした。

